



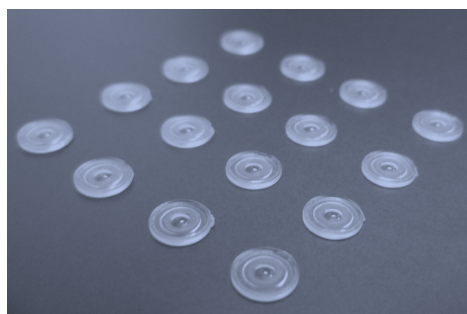
特殊ポリカーボネートの2拠点体制を確立 ～鹿島工場に加え、新潟工場でも生産を開始～

 三菱ガス化学株式会社

2014年12月24日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井敏磨）は、新潟工場における特殊ポリカーボネート樹脂の生産を開始し、従来の生産拠点である鹿島工場と合わせた2拠点量産体制を確立致しました。これにより、当社の生産能力は従来の約2倍となります。

当社は、小型高解像度のカメラレンズ向けに高屈折率・低複屈折を特徴とする特殊ポリカーボネート樹脂「ユピゼータ®EPシリーズ」を展開しており、近年は特にスマートフォンや携帯電話、タブレット等に搭載されるカメラレンズ向けの需要が伸びております。このような背景に加え、事業継続計画（BCP）対応の観点から、2拠点量産体制を構築致しました。現在、両拠点で順調に生産を実施しております。なお、今後も市場の拡大が期待されるため、鹿島工場における能力増強についても検討中です。



「ユピゼータ®EP」を用いたスマートフォン向けカメラレンズ

今後は、その他のカメラレンズ用途、光学フィルム等の新たな用途展開を進め、更なる事業の強化・拡大を目指します。

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部 TEL：03-3283-5041